

東京証券取引所主催
 「企業価値向上大賞」受賞

オムロン株式会社

企業価値向上の取り組みとヘルスケア事業戦略について

講演者

宮田 喜一郎 氏 (オムロン株式会社 執行役員常務 CTO 兼 技術・知財本部長)

1985 年 (株)立石ライフサイエンス研究所 (現オムロンヘルスケア(株)) 入社。1988 年 立石電機(株) (現オムロン(株)) 健康医用機器統轄事業部、1990 年 (株)オムロンライフサイエンス研究所 (現オムロンヘルスケア(株))、1994 年 米国 Omron Healthcare, Inc.、1998 年 (株)オムロンライフサイエンス研究所を経て、2003 年 オムロンヘルスケア(株) 商品事業統轄部 生体計測事業部長に就任。2005 年 同社 商品事業統轄部長を経て、2006 年より執行役員兼務。更に、2008 年 同社 執行役員常務兼務、2010 年 オムロンヘルスケア(株)代表取締役社長、2010 年 オムロン(株)執行役員、2012 年 同社 執行役員常務を歴任、2015 年より現職。



今年の 5 月 10 日に 82 回目の創業記念日を迎えたオムロン(株)は、センシング&コントロールをコアコンピタンスとし、オートメーションの進化を通じて、社会の持続的成長に寄与して参りました。昨年、同社は東京証券取引所から「企業価値向上表彰」の大賞に選定されました。選定の理由は、同社が実践している「ROIC 経営」にあります。ROIC 経営とは、投下資本利益率 (ROIC) を重要な経営指標と位置づけ、社内の各部門で意識できるレベルに分解し現場レベルで ROIC の向上を浸透・追求する活動です。例えば、営業部門では「いかに利益を上げるか」、生産部門では「いかに安く効率良く作るか」、開発や商品企画部門では「開発する商品やサービスでいかにお客様の価値を最大化するか」といったように、ROIC を算出するための要素を各部門が自部門の指標に捉えなおして追求することで、高いレベルでの企業価値向上を成し遂げました。今春オムロン(株)の CTO に就任した講演者は更なる企業価値向上にチャレンジ致します。あらゆるモノが通信機能を持つと言われる IoT (Internet of Things) 世界が到来する中、例えばヘルスケア機器と通信との融合は新たな価値創造の好例であるといえましょう。具体的にはバイタルデータを活用した高齢者等の見守りや、健康行動の評価による街の活性化がありますが、その取り組みの一端として、被災地や離島における事例や商店街活性化の取り組みを例に紹介して頂きます。また、バイタルデータに代表されるヘルスケアデータは、他のセンサ (環境センサ等) と組み合わせることで、これまでとは違った新たな価値を生み出す可能性を秘めています。結びにこれらのデータ解析領域での発展性についても触れて頂きます。

更なる企業価値向上を目指すオムロン(株)の CTO の生の声から多くを学び、次の時代を担うビジネスデザインに活かして参りましょう。

日時 2015 年 7 月 1 日 (水) 17 時 30 分～ (19 時頃から懇話会)

場所 京都大学デザインイノベーション拠点 (KR P9 号館 506)

<http://www.design.kyoto-u.ac.jp/access/>

対象 デザインイノベーションコンソーシアム会員、京都大学教員・学生、一部招待者

定員 40 名程度

参加費 無料 (懇話会 1000 円)

主催 京都大学デザイン学大学院連携プログラム / デザインイノベーションコンソーシアム

運営 貫井 孝 (京都大学デザイン学ユニット特任教授)

申込 <https://pro.form-mailer.jp/fms/e7632d9676271> (事前申し込み要)

締切 2015 年 6 月 24 日 (水)

問合せ デザインイノベーションコンソーシアム 事務局

京都リサーチパーク (株) 山口

mail : info@designinnovation.jp 電話 : 075-315-8522